

駅出入口の「マーク」駅サインをキューブ型に変更し、 お客様にわかりやすくします

～ みんなでECO. 光源にLED照明を採用し、環境負荷を低減 ～

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、路上に設置した駅出入口をお客様によりわかりやすくするため、平成27年度までに現行の丸型「Mマーク」駅サインをすべてキューブ型に変更いたします。新しいキューブ型の駅サインには、環境負荷低減のためLED照明を採用します。

従来から駅出入口に設置している丸型の「Mマーク」駅サインは、東京メトロ発足から長年親しまれておりますが、キューブ型に変更することで出入口の横方向からでも位置を認識しやすくなり、交差点や離れた場所などにおいてお客様によりわかりやすくなります。

今年度は丸ノ内線・有楽町線池袋駅や日比谷線上野駅など6駅13か所に導入し、平成27年度までに77駅224か所ある丸型の「Mマーク」駅サインをすべてキューブ型に取り替えます。

また、東京メトロでは「みんなでECO. 東京メトロ・エコプロジェクト」を推進し、環境にやさしい地下鉄を目指しており、このプロジェクトの一環として、キューブ型の「Mマーク」駅サインには駅構内の照明等に導入を進めているLED照明を採用します。これにより表示面積の増加による消費電力の増加を抑えるほか、球切れによる廃棄物の発生量を大幅に削減させることで環境負荷の低減に貢献いたします。

【出入口「Mマーク」駅サインの変更】



前後(二方向)からしか
認識できない



従来品とLEDの違い

	従来品 (丸型)	LED (キューブ型)
電力	20W×6本	15W×8本
寿命	12,000時間	40,000時間
明るさ	—	従来品と同等
環境	・水銀を含む	・水銀を含まない

東京メトロでは、さまざまな場所でLEDを採用しています

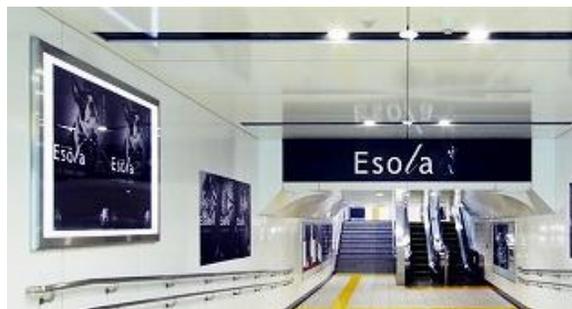
東京メトロではこれまでも、地下鉄の駅構内や車両設備において、さまざまな場所でLEDを採用し、省エネルギー化に取り組んできました。

駅構内では照明、サインシステムのほか広告看板の電装器具でも使用しています。また、車両においては、平成24年4月に運行開始した銀座線新型車両1000系で前照灯及び車内用照明にLEDを導入しています。

【サインシステム】



【照明】



【銀座線新型車両1000系】

